

情報公開文書

課題名 : 当院における Prehabilitation が大腸癌の術後成績に与える影響

研究期間 : 倫理委員会承認日 ~ 2019年 3月 31日

1. 研究の対象

2012年9月~2016年3月の期間に当院で大腸癌に対して手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究は、現在当院で実施されている術前のリハビリテーションがどのような効果があるのかを検討し、より効果的な術前のリハビリテーションの方法を考案していくことを目的としています。

2012年9月から2016年3月の期間に、当院消化器外科で大腸癌に対して手術療法が行われた患者さんのカルテを調査します。

統計学的調査は、術前リハビリテーションの有無についての交絡因子（結果に影響を与える原因）を調整するため、性別、年齢、BMI、血液データ、呼吸器疾患、がんステージ、大腰筋体積、術式について解析を行い、Prehabilitation（術前にリハビリテーションを行う）群と行わない群に分けて、2群間で比較を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、BMI、血液データ、呼吸器疾患の有無、がんステージ、大腰筋体積、術式、入院日数、術後合併症、リハビリ経過（術前実施日数、術後実施日数など）

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者小松洋亮が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所 浜松市中区富塚町 328 浜松医療センター

電話 053-453-7111 (代表)

リハビリテーション技術科 小松洋亮 (研究責任者)